

のかかり」重川希志依さん(9月) ●支部60周年記念座談会(10月) ●全国セミナー 支部発表「女性と地域防災のかかり」大川須津子会員(11月) ●会員親睦会「箱根ラリッく美術館・強羅花壇・恩賜箱根公園散策」(11月) ●新年会(1月) ●講演と映画会「スタンドアッパ」協力参加(2月) ●60周年の記念のついでに木村りえさんのピアノコンサート(3月) ●役員会(12回)、セミナー関係打合せ会(11回)、「静岡支部だより」(7回)、楽寿の園奉仕(月1回) ●他団体との活動・交流V ●登録団体としての活動 ●NPO法人 静岡県男女共同参画センター交流会議、「男女共同参画の日」県民フェスティバル、「平成19年度地域の男女共同参画を進める事業」参加、しずおか男女共同参画推進協議会、静岡県国際交流協会、高齢社会をよくなる女性の会全国大会静岡、ORCHI DINEPAL支援、ユニフェム国内会議所(賛助会員) ●事業計画(2008年度) ●支部総会(4/27)・役員会、親睦会、新年会「支部だより」発行

●愛知支部 林 恭子 会員数64名 2000円 ●事業報告(2007年度) ●支部総会開催(4/22) 講演「JICAで生け花を教える」落合永子氏 ●例会開催 5回、「健やかな老いは存在するか」介護施設問題、「ことば女性」「おんな」「婦人」 ●「中東の女性たちは今」新世代のアイデンティティと政治意識「J's Animal Behavior Clinic」 ●「年少日本語学習者における日本語構文の発達段階研究」・「持続可能な沼

と講話」 ●新年会開催 「スロベニアの歴史と文化」(1月) ●寄付金・奨学金の贈呈 ●年末寄付を募る 寄付金：「石川県肢体不自由児協会」「石川県手をつなぐ育成会」、「KJIS奨学金」(カシミール州の女子学生を支援する奨学金) (12月)、奨学金：「ドワン・プラティープ財団」(タイ) (5月) ●70歳以上の会員にお祝いの花を、敬老の日に80歳以上の会員にお祝いのカードを贈る。 ●事業計画(2008年度) ●支部総会・例会(8回予定)、親睦旅行、プロジェクト活動、ニュースレター発行 ●他団体との連携活動

●岐阜支部 松井恵美 会員数11名 2000円 ●事業報告(2007年度) ●支部総会開催(5/27) ●研修会開催 講演会・座談会 ●「地震災害発生時のサブライラインについて」上野幸代氏、「ジエンダーについて」杉山智子会員 ●その他・国内奨学生推薦を岐阜大学に依頼(6月) ●奨学生を囲みお祝い茶話会(2月)、親睦昼食会(3月)、支部だより発行(年5回)、岐阜支部のHP作成 ●事業計画(2008年度) ●支部総会・研修会(5・10月)・親睦昼食会 ●他団体との活動・交流V ●環日本海国際学術交流協会主催公開講演会、小松法学会女性部会主催講演会に出席。金沢国際交流団体運営委員会主催「国際交流まつり2007」に参加。金沢国際交流団体連絡会に出席。 ●事業計画(2009年度) ●チャリティ茶会・研究会・研究会・支部総会(7/6)

●福井支部 山田由美 会員数9名 1000円 ●事業報告(2007年度) ●支部総会(4/14) ●定例会(5回) ●裁判員制度についての学集会に向けて(6月)、裁判員制度について学集会(8月) オープン講座、アロマセラピー(10月)、金沢支部との合同例会「青木玲子先生をお

●京都支部 山崎京子 会員数52名 2000円 ●事業報告(2007年度) ●支部総会(4/21) ●例会(6回)「京都支部60周年を迎えて」西芳子会員(6月)、「中国女性の家庭と職業」蔣麗氏(留学生)、「女性研究者支援活動」登谷美穂子氏(7月)、報告「第29回JFUW総会およびJAUW主催のワークショップに参加して」廣田輝子会員、「元氣の出る音楽療法」呉竹栄一氏、安藤氏(ピアノ)、報告 全国セミナー「教育とジェンダー」廣田輝子、中川洋子、辻野茂子、亀田和世、山崎京子会員(12月)、「紫式部のみた宮廷サロンの女性たち」谷川良子氏(3月) ●第29回JFUW総会及びPre-Conference visit Edinburgh出席(廣田輝子会員)(8月) ●国内奨学金京都支部応募者選考会(9月) ●全国セミナー 研究発表(山崎京子会員) ●国内奨学生授賞式に出席(1月)、支部推薦の田中瑠璃子さんが安井医学奨学生に。 ●新年会 中国琴演奏 胡茜氏(1月) ●東京支部講演会に出席 ●支部役員会 8回 ●他団体との活動・交流V

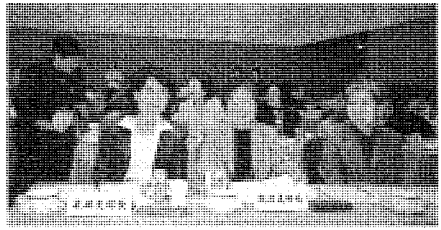
●奈良支部 北口照美 会員数36名 1000円 ●事業報告(2007年度) ●支部総会(4/28) ●講演会等 ●「メタボリックシンドロームと治療」貴志豊和氏(4月)、「世界史を愛する地図」杉山正明氏(6月)、映画会「不都合な真実」(8月) ●国内奨学生候補者の推薦を関係大学に依頼した。 ●役員会 ●他団体との活動・協力V ●奈良県男女共同参画会議事業への参加、NPO主催のパソコン講座後援・参加 ●事業計画(2008年度) ●支部総会、役員会、国内奨学生候補者の推薦、講演会・見学会・学習会・研究会開催、奈良県男女共同参画事業への参加 ●大分支部 近藤みち子 会員数68名 2000円 ●事業報告(2007年度) ●支部総会・懇談会(4/22) ●例会・第一回例会 シンポジウム「女子教育の現状」(6月)、コーディネーター：真邊美子、シンポジスト：角田、大飼、森、塩田、片岡各会員、「男女共同参画社会作り功労賞表彰を受けて」喜多嶋美枝子会員、JFUWマンチェスター総会報告：岡崎優子・近藤みち子会員・レイバ犯罪についての一考察「さんかくカレッジ専門コースレポート」入野美恵子(1月)「外国人による日本語弁論大会」を使つての国際理解教育の実践、伊賀星道氏「家庭科の男女共修13年を振り返って」全国セミナー報告 ●松田さん、岡山市民協働事業(3月)、「NGO活動と世界の女性たち」Think Globally, Act Locally」江尻美穂子氏 ●第24回「外国人による日本語弁論大会」主催(11月) 出場者招待懇親会 月 講演会「中国雲南省少数民族の暮らし」 ●その他 ●役員会開催(毎月) ●「支部だより」発行(隔月)、ボランティアグループ「若の会」活動、「ダンスの会」、「書道教室」、「Book Club」 ●他団体との活動・交流V ●芦屋男女共同参画団体協議会、クリスティバルフエスタ2007「県立男女共同参画センター実施事業」、「アジアン基金セミナー」(アジアン基金が危ない人口・都市の発展と水環境)市主催「オクタムフェスタ2007」、「神戸国際交流フェア」等参加・他 ●事業計画(2008年度) ●支部総会・例会・奨学生支援、その他・役員会活動、他団体との交流活動、財務資金活動など。

●岡山支部 近藤みち子 会員数68名 2000円 ●事業報告(2007年度) ●支部総会・懇談会(4/22) ●例会・第一回例会 シンポジウム「女子教育の現状」(6月)、コーディネーター：真邊美子、シンポジスト：角田、大飼、森、塩田、片岡各会員、「男女共同参画社会作り功労賞表彰を受けて」喜多嶋美枝子会員、JFUWマンチェスター総会報告：岡崎優子・近藤みち子会員・レイバ犯罪についての一考察「さんかくカレッジ専門コースレポート」入野美恵子(1月)「外国人による日本語弁論大会」を使つての国際理解教育の実践、伊賀星道氏「家庭科の男女共修13年を振り返って」全国セミナー報告 ●松田さん、岡山市民協働事業(3月)、「NGO活動と世界の女性たち」Think Globally, Act Locally」江尻美穂子氏 ●第24回「外国人による日本語弁論大会」主催(11月) 出場者招待懇親会 月 講演会「中国雲南省少数民族の暮らし」 ●その他 ●役員会開催(毎月) ●「支部だより」発行(隔月)、ボランティアグループ「若の会」活動、「ダンスの会」、「書道教室」、「Book Club」 ●他団体との活動・交流V ●芦屋男女共同参画団体協議会、クリスティバルフエスタ2007「県立男女共同参画センター実施事業」、「アジアン基金セミナー」(アジアン基金が危ない人口・都市の発展と水環境)市主催「オクタムフェスタ2007」、「神戸国際交流フェア」等参加・他 ●事業計画(2008年度) ●支部総会・例会・奨学生支援、その他・役員会活動、他団体との交流活動、財務資金活動など。

●広島支部 吉村幸子 会員数21名 2000円 ●事業報告(2007年度) ●支部総会(6/3) ●例会(3回)、「卓話と座談会(9月)」、「それぞれ」の立場で、次世代支援、馬越会員(みづき保育園園長)、講演会(10月)、「未来を見据えて」クロバに生きる」中山恭子氏(財)広島県女性会議主催公開講座に参加、秋の宮島散策(11月) ●全国セミナー参加(11月)、石井三恵子会員発表。 ●新年会開催(1月) ●他団体との活動・交流V ●(財)広島県女性会議、県男女共同参画をすすめる会 総会・全大会等、2007日本女性会議参加・広島市女性教育センター・女性団体グループ連絡会、県女性会議電話相談参加 ●事業計画(2008年度)

●山口支部 早川あけみ 会員数2名 ●事業報告(2007年度) ●支部長交代 ●愛媛支部 高知支部 大分支部 井野邊陽子 会員数22名 3000円 ●支部総会開催(5/26) ●支部総会開催 研修旅行 三和酒類を見学後 生活工房「とうがらし」訪問 金丸佐佑子会員主宰(9月)、「国際交流」公開講演、公開講演会(1月) ●「憲法存在の意義と改憲論の危うさ」 ●「クララ」発行 ●その他・小泉武夫先生講演会を後援(5月)、「地域の元氣は食と農から」金丸佐佑子会員主宰 生活工房とうがらし10周年記念講演、野口涼子会員の「羽衣」鑑賞(9月)、「11月」、「源氏物語」講座(毎月第2・第4木曜日)、役員会「クララ」編集会議 ●事業計画(2008年度) ●支部総会 ●熊本支部 大宮喜三子 会員数20名 2000円 ●事業報告(2007年度) ●支部総会(4/28) ●講演「イギリスのホームステイの状況」内田照美さん ●例会(1回) ●マンチェスター大会報告(出井会員)(10月)、福岡支部との交流・熊本さくら見る「家事調停から見える日本社会」武宮公子会員(12月)、外国の方との交流(ゲストステイ・レン・ハルトさん)(2月) ●熊本の水質汚染を考える会に協力(6月、12月) ●事業計画(2008年度) ●支部総会 ●福岡支部 和栗方子 会員数27名 3000円 ●事業報告(2007年度) ●JAUW創立60周年、第50回通常総会開催(4/7・8)、バスツアー(唐津コース、柳川コース)実施(4月) ●通常総会会計報告・反省会 ●支部総会開催(5/16) ●裁判員制度発足に向け、福岡地方裁判所裁判傍聴、裁判員制度説明会に参加(7月) ●熊本支部との交流会(10月) ●マンチェスター総会報告を聞き、400年祭開催中の熊本城見学 米寿会員2名の祝賀会と卓話(10月) ●新年会とミニバザー(1月)、「卓話」日本に来て感じたこと」黄信貞氏 ●その他・ネパールへ奨学金を送る(年1回)、役員会(数回)、福岡支部員会(数回)(2月発行) ●他団体との活動・交流V ●市婦人団体協議会、「婦人会館フェスタ2007」に参加(10月)、暴力追放福岡市民大会出席(11月) ●事業計画(2008年度) ●支部総会、後援会、一日ツアー、新年会

●長崎支部 梅田和子 会員数4名 1000円 ●事業報告(2007年度) ●国内奨学金(安井医務・社会福祉の奨学生のすいせん) ●社会福祉奨学生 採用 ●国内奨学金贈呈式への参加(1名) ●総会(1回)、定例会(3回) ●他団体との活動・交流V ●NPO法人 斜間研究会への参加(2名) ●事業計画(2008年度) ●国内奨学生推薦・女子学生との小規模交流会・総会、定例会、役員会・NPO法人斜間研究会活動への参加、他 ●鹿児島支部



総会会場風景

秋田支部	岸田雅子	神戸支部
田中玲子	高宮美奈子	市村方子
仙台支部	愛知支部	片岡聰子
大槻志鶴子	羽谷沙織	山口久仁子
東京支部	京都支部	
石原淳子	田中瑠璃子	
内野雅子	奈良支部	
大村礼子	ライラ・ママテイ	

第11回大学婦人協会守田科学研究奨励賞

受賞候補者募集要項

趣旨：本賞は、化学教育者・故守田純子氏から遺贈された資金をもとにして、自然科学を専門とする女性科学者の研究を奨励し、科学の発展に貢献する人材を育成することを目的として、1998年に設けられたものです。

対象：自然科学分野において、優れた研究成果をあげており、科学の発展に貢献することが期待される40歳未満（応募締切日現在）の女性科学者を対象とします。

授賞件数：年2件以内

および副賞50万円を贈呈します。

提出書類：1. 推薦状 2. 履歴書（写真添付） 3. 研究業績リスト 4. 主要な論文別刷り5編以内、それぞれ3部（論文別刷りはコピーでも可、返却しません） 5. 研究題目とその概要、今後の展望および抱負を記したものを（A4版2頁以内）

応募締切日：2008年12月1日（月）（必着）

書類送付先・連絡先：社団法人 大学婦人協会

〒160-0017 東京都新宿区左門町11番地 6-101

Tel：03-3358-2882 Fax：03-3358-2889

http://www.jauw.org e-mail:jauw@jauw.org



守田科学研究奨励賞贈呈式
房野会長（中央）、両受賞者を囲み和やかな関係者
（2008年5月10日）

第10回 大学婦人協会
守田科学研究奨励賞
贈呈式

科学研究奨励委員会委員長 岩村道子

第10回守田科学研究奨励賞の贈呈式が、5月10日にアルカディア市ヶ谷でおこなわれた。受賞者は、東京大学大学院理学系研究科物理学専攻講師の岩崎昌子博士（素粒子物理学）とハーバード医科大学マサチューセッツ総合病院皮膚科学研究所門下講師の吉田年美博士（発達生物学）である。賞の授与に引き続き、岩崎博士の「高エネルギー素粒子物理実験によるフレイバー物理の研究」、吉田博士の「造血幹細胞

助手として着任し2004年より現職にある。吉田博士は91年に東京大学工学部化学工学科を卒業、97年に同大学院医学研究科博士課程を修了し、同時に博士（病態・病理学）の学位を同大学より受けた。その後東京大学医科学研究所研究員を経て、97年にハーバード医科大学マサチューセッツ総合病院皮膚科学研究所門下に研究員として着任し、2005年より現職にある。

受賞研究の内容はいずれもその分野の最先端をゆくものであり、また世界からの当該分野の研究者から高い評価を得ているものである。受賞講演ではその高度な研究内容と学術的意義が平易に解説された。

贈呈式に引き続き、おこなわれた祝賀会では、受賞者の素顔も研究指導された先生方や先輩友人から紹介された。岩崎博士は2歳のお嬢さんを育てながら日々の勤務をこなされており、ご本人のご苦労はもとより、周囲のサポートの厚さで私どもJAUWの会員にたいへん感銘を与えた。滞米10年以上となる吉田博士は、剣道5段の実力者で研究の傍らボストンのスポーツクラブで子供たちに剣道の指導をされているとのこと、出席者にさわやかな印象を与えた。

2008年度 (社)大学婦人協会国内奨学生募集要項 (抜粋)

本協会国内奨学金は、女性の高等教育向上と研究生活を奨励し、文化の発展に貢献するため、優秀な女子学生に教育資金または研究資金を与えることを目的とし、1948年に設立されたものである。

I 応募資格

一般奨学生

文部科学省の認可する大学の大学院に在籍1年以上の女子学生で、人物・学業ともに優れた者。（なお、一般奨学生のうち女性、教育、国際協力に関する研究をしている学生1名は、本協会の設立に寄与したル・ホームズ氏を記念してホームズ奨学生とする）

社会福祉奨学生

文部科学省の認可する大学（短期大学を除く）の学部・大学院に在籍1年以上の女子学生で、身体に障害があり、かつ人物・学業ともに優れた者。

安井医学奨学生

医学、薬学、看護学などを専攻する大学院に在籍1年以上の女子学生で、人物・学業ともに優れた者。なお、本協会の会員であるか、または授与の時点で会員になること。

II 奨学金支給額及び募集人員

一般奨学生	大学院生	1名につき	20万円	6名（ホームズ奨学生を含む）
社会福祉奨学生	学部生	1名につき	10万円	学部生、大学院生あわせて3名以下とする。
	大学院生	1名につき	20万円	
安井医学奨学生	大学院生	1名につき	30万円	1名

III 提出書類

- 履歴書（市販B4版のもの、写真貼付、自筆のこと）
- 大学婦人協会所定の奨学金交付調書（記入者は在学する大学の学長・学部長・学部長・指導教員のいずれかであること）
- 在学する大学の交付する学業成績証明書
- 小論文（下記のそれぞれの課題を1200字〔A4判 横書 40字×30行〕以内にまとめること）
 - 一般奨学生（大学院生）および社会福祉奨学生：学部生 専攻分野と将来の抱負について 大学院生 修士論文または博士論文と将来の抱負について
 - 安井医学奨学生：大学院生 専攻分野と将来の抱負について
- 業績リスト（大学院生のみ。所定の様式を使用）
- 所定の「身体障害状況調書」と障害者手帳の写し（社会福祉奨学生のみ）

IV 応募手続

応募者は、必要書類を所属大学の学長に提出すること。（原則として1大学1名とする。）

V 出願締切日

2008年9月12日（金）までに、東京都ならびに本協会支部が設置されていない地域の大学は本協会本部に、支部が設置されている地域の大学は当該支部に書類を提出すること。（当日消印有効）

社団法人 大学婦人協会

〒160-0017 東京都新宿区左門町11番地 6 の101

TEL 03-3358-2882 FAX 03-3358-2889

http://www.jauw.org

e-mail:jauw@jauw.org

《支部より》

2002年度社会福祉奨学生

「木村りえピアノコンサート」

静岡支部設立60周年記念のついでに

静岡支部会員 林 幸子

静岡支部では、支部設立60周年の記念のついでに、将来はドイツの音楽家として、2008年3月16日（日）静岡音楽館AOI7階講堂で14時から15時まで、「木村りえピアノコンサート」を開催いたします。そのときに、木村りえさんの演奏をご紹介します。

木村りえさんは、北九州市出身で生まれながらにして、双子の妹と共に目に見えない障害があり、保育園では保育士の弾くピアノに関心をもち、小学校3年生から本格的小提琴の指導を受け始めました。筑波大学付属音楽学校中・高等部音楽科を卒業。フェリス学院大学でピアノを専攻。2002年度本部社会福祉奨学生に選ばれました。双子の妹と

共にはピアノの道を歩んでおり、将来はドイツの音楽家として、2008年3月16日（日）静岡音楽館AOI7階講堂で14時から15時まで、「木村りえピアノコンサート」を開催いたします。そのときに、木村りえさんの演奏をご紹介します。

まず、曲目はモーツァルトの「きらきら星変奏曲」に始まり、メンデルスゾーン「無言歌集」などの小品から、演奏時間40分かかるシューベルトの「ピアノソナタ変奏曲」まで丁寧な演奏が、大変澄んだ音色は、140名近い参加者一人一人の心に響き、大きな拍手の中、アンコール曲も無事終わりました。

83歳の女性が壇上に上って「今日は私の誕生日、足が痛い中をやってきました。この日にこんな素晴らしいピアノの演奏が聴けて嬉しい、目に障害があるというので香りのある花を沢山入れました」と言っていました。

木村りえさんの演奏は、大変澄んだ音色は、140名近い参加者一人一人の心に響き、大きな拍手の中、アンコール曲も無事終わりました。

83歳の女性が壇上に上って「今日は私の誕生日、足が痛い中をやってきました。この日にこんな素晴らしいピアノの演奏が聴けて嬉しい、目に障害があるというので香りのある花を沢山入れました」と言っていました。

木村りえさんの演奏は、大変澄んだ音色は、140名近い参加者一人一人の心に響き、大きな拍手の中、アンコール曲も無事終わりました。

83歳の女性が壇上に上って「今日は私の誕生日、足が痛い中をやってきました。この日にこんな素晴らしいピアノの演奏が聴けて嬉しい、目に障害があるというので香りのある花を沢山入れました」と言っていました。



演奏中の木村りえさん
（3月16日）



木村りえさんと社会福祉委員を囲んで

んへの素敵な花束のプレゼントがありました。木村りえさんは、「会場がとても温かな雰囲気、楽しくピアノを弾くことができました」と語られました。また、地元の静岡新聞の取材があり、60周年の記念行事としてのピアノコンサートは大成功、音楽への愛がこもった演奏とウィットに富んだ語りがいやさらなる演奏家」と好評で、「本人、りえさんは、目が見えないことより、今後の若き演奏家木村りえさんのさらなる活躍を心よりお祈りいたしております。」

大阪通常総会懇親会と見学ツアー



お仕舞「源氏供養」を披露する下川勢津子会員



ハワイアンフラのアトラクション



大阪城公園の桜並木とロードトレイン



国立民族博物館

錦松梅

本社 新宿区四谷3の7
電話 03 (3359) 0111

2007年度 社団法人 大学婦人協会収支決算報告書及び貸借対照表

収 支 計 算 書

(2007年4月1日から2008年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
I 収 入 の 部				
1 基本財産運用収入	20,100	261,589	△241,489	
基金口座利息				
事業基金利息	10,000	104,364	△94,364	
ホームズ基金利息	100	4,559	△4,459	
国際奨学金基金利息	10,000	152,666	△142,666	
2 入 会 金 収 入	60,000	48,000	12,000	
入 会 金	60,000	48,000	12,000	¥1,000※48名
3 会 費 収 入	8,490,000	7,698,000	792,000	
正会員会費収入	8,400,000	7,620,000	780,000	¥6,000※1270口
賛助会員会費収入	90,000	78,000	12,000	¥6,000※13口
4 セミナー参加費	450,000	544,000	△94,000	¥3,000※180名、¥1,000※4名
5 セミナー補助事業	900,000	1,878,000	△978,000	コンサート収益
6 寄付金収入	1,200,000	2,187,950	△987,950	財務委員会166万3千930円・指定寄付:東京支部10万円・新春つどい時募金8万6千20円・神奈川支部・田中氏10万円・源氏物語読書会I、II各2万円・田中氏5万円、川田氏10万円他
7 雑 収 入	1,483,000	1,332,842	150,158	
受 取 利 息				
運用財産利息	3,000	11,701	△8,701	
審 査 手 数 料	0	0	0	
広 告 料 収 入	150,000	179,475	△29,475	錦松梅、九大ハム、ボショロムジャパン、東天
総 会 参 加 費	690,000	519,000	171,000	¥3,000※158名
雑 収 入				
分 担 金	570,000	570,000	0	東京支部管理費分担
名 簿	0	0	0	
私 用 電 話 他	70,000	52,666	17,334	俳句、水墨画室料他
8 特定預金取崩収入	6,870,000	5,374,505	1,495,495	
安井医学奨学金	310,000	300,000	10,000	
守田科学研究奨励金	1,260,000	1,328,202	△68,202	
国際奨学金	2,000,000	783,420	1,216,580	
若手会員育成金	1,000,000	953,150	46,580	
国内奨学金	1,500,000	1,400,000	100,000	
セミナー・研究活動資金	800,000	609,733	190,267	
A 当期収入合計	19,473,100	19,324,886	148,214	
B 前期繰越収支差額	10,000,000	10,992,257	△992,257	
C 収 入 合 計 (A+B)	29,473,100	30,317,143	△844,043	

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
II 支 出 の 部				
1 事業費	14,430,000	12,809,744	1,620,256	
セミナー補助事業	2,150,000	1,768,890	381,110	
奨 学 金	900,000	982,554	△82,554	
一般奨学金	1,200,000	1,200,000	0	20万円※6名
社会福祉奨学金	300,000	200,000	100,000	10万円※2名
贈呈式参加費	100,000	89,305	10,695	
国際奨学金	2,000,000	783,420	1,216,580	70万円※1名
安井医学奨学金	310,000	300,000	10,000	30万円※1名
守田科学研究奨励金	1,260,000	1,328,202	△68,202	50万円※2名
若手会員育成金	1,000,000	953,150	46,850	
分 担 金	2,130,000	2,251,975	△121,975	07年分支払 1250名
IFUW・UWA会費	100,000	100,000	0	
IFUW関係連絡費	55,000	105,000	△50,000	
NGOその他				
助 成 金	50,000	50,000	0	08年分会費一部として納入
IFUW寄付金	60,000	58,200	1,800	
支部振興費	620,000	583,106	36,894	
各委員会活動費	5,000	5,000	0	
図書・資料費	0	0	0	
印刷製本費	1,350,000	1,277,850	72,150	年4回発行
名簿発行他	20,000	0	20,000	
通信運搬費	360,000	277,490	82,510	
60周年記念事業	60,000	120,085	△60,085	
10年史編纂費	400,000	375,517	24,483	
2 管 理 費	5,123,700	5,117,411	6,289	
給料・手当	1,860,000	1,783,727	76,273	
給料・夏・冬手当	310,000	277,514	32,486	労働保険・社会保険
法定福利費	1,400,000	1,326,717	73,283	
総 理 事 会 費	0	0	0	
役員選考委員会費	0	0	0	
旅 費 交 通 費	60,000	60,000	0	
通信運搬費	200,000	229,699	△29,699	
通 信 費	50,000	3,944	46,056	
消耗品費	380,000	647,306	△267,306	
印刷製本費	40,000	0	40,000	
負担金	325,200	325,200	0	
負 担 金	140,000	131,979	8,021	
光熱水料	120,000	120,000	0	会計士謝礼
租 税 公 課	168,500	157,900	10,600	固定資産税
雑 費	70,000	53,425	16,575	
3 繰 入 金 支 出	150,000	1,368,245	△1,218,245	
事業基金繰入	0	0	0	
退職給付積立金繰入	30,000	30,000	0	
国際奨学金積立金繰入	10,000	152,666	△142,666	
ホームズ奨学金積立金繰入	10,000	4,559	5,441	
国内奨学金積立金繰入	100,000	1,181,020	△1,081,020	
セミナー・研究等活動費繰入	0	0	0	
4 予 備 費	80,000	0	80,000	
D 当期支出合計	19,783,700	19,295,400	488,300	
E 当期収支差額 (A-D)	△310,600	29,486	△340,086	
F 次期繰越収支差額 (C-D)	9,689,400	11,021,743	△1,332,343	

貸 借 対 照 表

2008年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額
I 資 産 の 部	
1 現 金 類	
現金	106,985
普通預金	3,443,328
定期預金	4,850,000
郵便振替	2,621,430
流動資産合計	11,021,743
2 固 定 資 産	
(1)基 本 財 産	
事業基金	44,600,000
ホームズ基金	2,000,000
国際奨学金基金	40,000,000
基本財産合計	86,600,000
(2)特 定 資 産	
国際奨学金	16,565,542
国内奨学金	9,241,817
安井医学奨学金	6,003,508
守田科学研究奨励金	15,626,016
ホームズ奨学金	315,210
若手会員育成金	4,835,651
セミナー・研究等活動費	10,010,528
退職給付積立金	90,129
特定資産合計	62,688,401
(3)その他固定資産	
土地	36,400,024
建物	14,476,776
什 器 ・ 備 品	500,000
電 話 加 入 権	100,000
その他固定資産合計	51,476,800
固定資産合計	200,765,201
資 産 合 計	211,786,944
II 負 債 の 部	
1 流 動 負 債	
預り金	0
流動負債合計	0
2 固 定 負 債	
退職給付引当金	90,129
固定負債合計	90,129
負 債 合 計	90,129
III 正味財産の部	
1 指 定 正 味 財 産	
指定正味財産	0
指定正味財産合計	0
2 一 般 正 味 財 産	
一般正味財産合計	211,696,815
(うち基本財産への充当額)	(86,600,000)
(うち特定資産への充当額)	(62,688,401)
正 味 財 産 合 計	211,696,815
負債及び正味財産合計	211,786,944

○監査報告 監査の結果、収入・支出ともにすべて正しく記録されており間違いのないことを認めます。

平成20年4月1日

監事

五十嵐 康子 田中トモ子

2008年度 社団法人 大学婦人協会収支予算書

(2008年4月1日から2009年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減 (△)	備 考	科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減 (△)	備 考
I 収 入 の 部					II 支 出 の 部				
1 受 取 利 息 収 入	220,000	23,100	196,900		1 事 業 費	12,330,000	14,430,000	△2,100,000	
事業基金利息	80,000	10,000	70,000		セミナー補助事業	0	2,150,000	△2,150,000	
ホームズ奨学金利息	1,000	100	900		奨学金	0	900,000	△900,000	
国際奨学金利息	80,000	10,000	70,000		一般奨学金	300,000	0	300,000	
安井医学奨学金利息	10,000	0	10,000		社会福祉奨学金	1,200,000	1,200,000	0	¥200,000×6名(ホームズ奨学金を含む)
守田科学研究奨励金利息	30,000	0	30,000		贈呈式奨学金	300,000	300,000	0	¥200,000×1名 ¥100,000×1名
若手会員育成金利息	4,000	0	4,000		国際奨学金	100,000	100,000	0	0
国内奨学金利息	0	0	0		2,050,000	2,000,000	50,000	¥1,000,000×2名	
セミナー活動資金利息	0	0	0		安井医学奨学金	310,000	310,000	0	¥300,000×1名
退職給付積立金利息	0	0	0		守田科学研究奨励金	1,350,000	1,260,000	90,000	¥500,000×2名
運用財産利息	15,000	3,000	12,000		若手会員育成金	1,000,000	1,000,000	0	0
2 受 取 入 会 金	60,000	60,000	0		新春のつどい費用	800,000	0	800,000	
入 会 金	60,000	60,000	0	¥1,000×60名	分 担 金				
3 受 取 会 費	8,250,000	8,490,000	△240,000		IFUW・UWA会費	2,130,000	2,130,000	0	
正会員会費収入	8,160,000	8,400,000	△240,000	¥6,000×1,360口	IFUW関係連絡費	100,000	100,000	0	
賛助会員会費収入	90,000	90,000	0	¥6,000×15口	NGO・その他	95,000	55,000	40,000	国際婦人年連絡会2008年度分相金含む
4 事 業 収 入	2,300,000	1,350,000	950,000		助 成 金				
セミナー参加費	0	450,000	△450,000		IFUW寄付金	50,000	50,000	0	ビーナ・ロイ事業支援金
セミナー補助事業	0	900,000	△900,000		支部振興費	60,000	60,000	0	
シンポジウム参加費	150,000	0	150,000	¥1,000×150名	各委員会活動費	610,000	620,000	△10,000	
国際奨学生報告会参加費	50,000	0	50,000		図書・資料費	5,000	5,000	0	
守田科学研究報告会参加費	90,000	0	90,000		印刷製本費	1,350,000	1,350,000	0	年4回発行
会員事業活動収入	1,200,000	0	1,200,000	財務委員会事業	20,000	20,000	0		
新春のつどい参加費	800,000	0	800,000		通信運搬費	500,000	360,000	140,000	
その他参加費	10,000	0	10,000		60周年記念事業	0	60,000	△60,000	周年事業のため本年0
5 寄 付 金 収 入	150,000	1,200,000	△1,050,000		10年史編纂費	0	400,000	△400,000	
会員その他寄付	150,000	1,200,000	△1,050,000	東京支部より国内奨学金10万円含む	2 管 理 費	5,386,700	5,123,700	263,000	
6 雑 収 入	1,510,000	1,480,000	30,000		給料・手当	1,860,000	1,860,000	0	
総 会 参 加 費	690,000	690,000	0	¥3,000×230名	給料・夏・冬手当	310,000	310,000	0	社会保険・労働保険
分 担 金	550,000	570,000	△20,000	東京支部部分担金	法定福利費				
広 告 料 収 入	200,000	150,000	50,000		総 理 事 会 費	1,400,000	1,400,000	0	
私 用 電 話 他	70,000	70,000	0		役員選考委員会費	0	0	0	
7 特定預金取崩収入	6,170,000	6,870,000	△700,000		旅 費 交 通 費	60,000	60,000	0	
安井医学奨学金	310,000	310,000	0		通信運搬費	200,000	200,000	0	
守田科学研究奨励金	1,260,000	1,260,000	0		通 信 費	50,000	50,000	0	
国際奨学金	2,000,000	2,000,000	0		消耗品費	600,000	380,000	220,000	新名称封筒代等
若手会員育成金	1,000,000	1,000,000	0		印刷製本費	50,000	40,000	10,000	
国内奨学金・社会福祉奨学金	1,500,000	1,500,000	0		負担金	325,200	325,200	0	
セミナー・研究等活動費	100,000	800,000	△700,000	シンポジウム等	140,000	140,000	0		
					光熱水料	120,000	120,000	0	
					租 税 公 課	168,500	168,500	0	会計士謝礼
					雑 費	100,000	70,000	30,000	固定資産税
					特定預金残高証明費	3,000	0	3,000	
					3 繰 入 金 支 出	980,000	150,000	830,000	
					事業基金繰入	0	0	0	
					退職給付積立金繰入	50,000	30,000	20,000	
					国際奨学金積立金繰入	10,000	10,000	0	
					ホームズ奨学金積立金繰入	10,000	10,000	0	
					国内奨学金積立金繰入	10,000	100,000	△90,000	
					セミナー・研究等活動費繰入	700,000	0	700,000	
					事務所修繕費積立金	200,000	0	200,000	
					4 予 備 費	100,000	80,000	20,000	
A 当期収入合計	18,660,000	19,473,100	△813,100		D 当期支出合計	18,796,700	19,783,700	△987,000	
B 前期繰越収支差額	10,000,000	10,000,000	0		E 当期収支差額 (A-D)	△136,700	△310,600	173,900	
C 収入合計 (A+B)	28,660,000	29,473,100	△813,100		F 次期繰越収支差額 (C-D)	9,863,300	9,689,400	173,900	